

盛岡市動物公園再生事業検討会議について

平成30年8月17日
都市整備部

1 趣旨

盛岡市動物公園公民連携事業における動物公園再生事業検討会議（以下「事業検討会議」という。）について、平成30年6月26日に開催したので、その結果を報告するもの。

2 事業検討会議の概要

- (1) 日時 平成30年6月26日（火）10：30～12：30
- (2) 会場 プラザおでって（3F） おでってホール
- (3) 参加者 約110人（一般市民、行政関係者等）

3 説明項目

- (1) 動物公園の現状について（説明者：榎オガール）
施設の老朽化と経費の増、来園者数の減少傾向
- (2) 岩山エリア公民連携基本計画について（説明者：盛岡市 都市整備部）
資源を有効活用し、エリアをネガティブなイメージからポジティブなイメージへ変える
- (3) （仮称）いわて動物愛護センターの概要について（説明者：岩手県 環境生活部）
動物愛護の普及啓発、飼い主のいない猫対策、生存の機会の拡大、災害時の動物救護
- (4) 再生の定義について（説明者：榎オガール）
新たな収入源の確保、効果的な投資でサービスの向上、施設の更新、リピーターの増
- (5) 現時点での動物公園の課題と改善策について（説明者：事業検討会議委員 向井 猛）
施設の老朽化、魅力ある展示としてのサイン、スタッフと来園者の関係性、ワクワク感
- (6) 動物公園再生計画の骨子について（説明者：榎オガール）
自立した運営の実現、財政負担の軽減、新たな社会教育施設としての役割の創出

4 事業検討会議委員の意見内容等

(1) 事業検討会議委員

- ア 清水 義次 （株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役）
- イ 青木 純 （株式会社まめくらし代表取締役）
- ウ 大島 芳彦 （株式会社ブルースタジオ専務取締役）
- エ 福井 大祐 （岩手大学農学部共同獣医学科准教授）
- オ 向井 猛 （札幌市保健福祉局衛生研究所生活科学課食品化学係長）

(2) 事業検討会議委員の主な意見

- ア 清水 義次
これからは“市民の時代”，市民が当事者になれば公共空間の経営も可能で、盛岡市民が動物公園再生の当事者となることが重要
- イ 青木 純
盛岡市や運営者である盛岡市動物公園公社と来園者のコミュニケーション機会が少ないので、お金をかけずに改善できることからやることが大事
- ウ 大島 芳彦
人と動物の関係性である境界のデザインが動物公園再生のポイント
- エ 福井 大祐
動物公園再生のゴールに環境と保全という視点も含めることが重要
- オ 向井 猛
開園から約30年経ち、施設も老朽化し、社会情勢や市民の考え方も大きく変わり、動物公園に関わる人達は意識改革して再生計画に携わることが重要

5 アンケート結果

(1) 回答者 32人

(2) 寄せられた回答等

動物公園	<p>ア 動物公園を核とした事業計画に大きな可能性を感じた。</p> <p>イ エリアの視点には夢がある。</p> <p>ウ 来園者が増えれば、動物にとっても福祉行政の向上にもなる話は希望が持てた。</p> <p>エ 動物公園を起点としたまちづくりに期待が持てた。</p> <p>オ 働いている人が変わり、動物公園が良い印象の施設になることを期待している。</p> <p>カ 楽しいことがある空間となり、みんなに愛される空間となることを期待する。</p> <p>キ 女性が行きたい、行って良かったと思える空間になりそうで、事業に期待する。</p> <p>ク ワクワクする動物公園になる様な気がする。</p> <p>ケ 課題を明確に捉えた事業提案は、夢のある内容で心が躍った。</p> <p>コ 「動物と人の福祉動物園」は取り組む意義のある事業コンセプトである。</p> <p>サ 都市経営課題の解決を動物公園再生事業に織り込むのは印象に残った。</p> <p>シ 事業の方向性が理解でき、やりがいを感じた。</p> <p>ス 市の総予算額1千億円の0.3%を動物公園に投資できないはずがない。</p> <p>セ 経済合理性が甘くなり、民間が投資しない事態にならないように注意して欲しい。</p> <p>ソ 市の財政負担において、新たな社会教育施設として再生すべき。</p> <p>タ テーマパークやアミューズメントパークとしての改革も必要である。</p> <p>チ 売店のリノベーションも事業計画に織り込んで欲しい。</p> <p>ツ 雨の日、寒い日、冬に行きたいと思える動物園にして欲しい。</p>
動物愛護センター	<p>ア 現在の社会情勢下で動物愛護センターの必要性が理解できた。</p> <p>イ ボランティアの重要性を説明していただいたのは良かった。</p> <p>ウ 高齢者やボランティアが行き易いところが良い。</p> <p>エ 動物公園内に殺処分施設は不要である。</p> <p>オ 市民から愛される、海外から注目される、魅力ある施設にする必要があるのか疑問である。</p> <p>カ 保護や譲渡だけでなく、問題を根本から解決していける施設を期待します。</p>
その他	<p>ア 当事者となって事業に関わる必要性を学んだ。</p> <p>イ オープンな会議は良かった。</p> <p>ウ 旧漆芸美術館がエリアのイメージを壊しているのを一緒に改善して欲しい。</p> <p>エ 中央資本に頼るのではなく、地元資本と連携する事業として欲しい。</p>

6 次回の事業検討会議（予定）

(1) 日時 平成30年8月23日（木）10:30～12:30

(2) 会場 プラザおでって（3F）おでってホール

(3) 説明内容（予定）

ア ソーニング計画

イ 施設配置計画

ウ デザインコンセプト